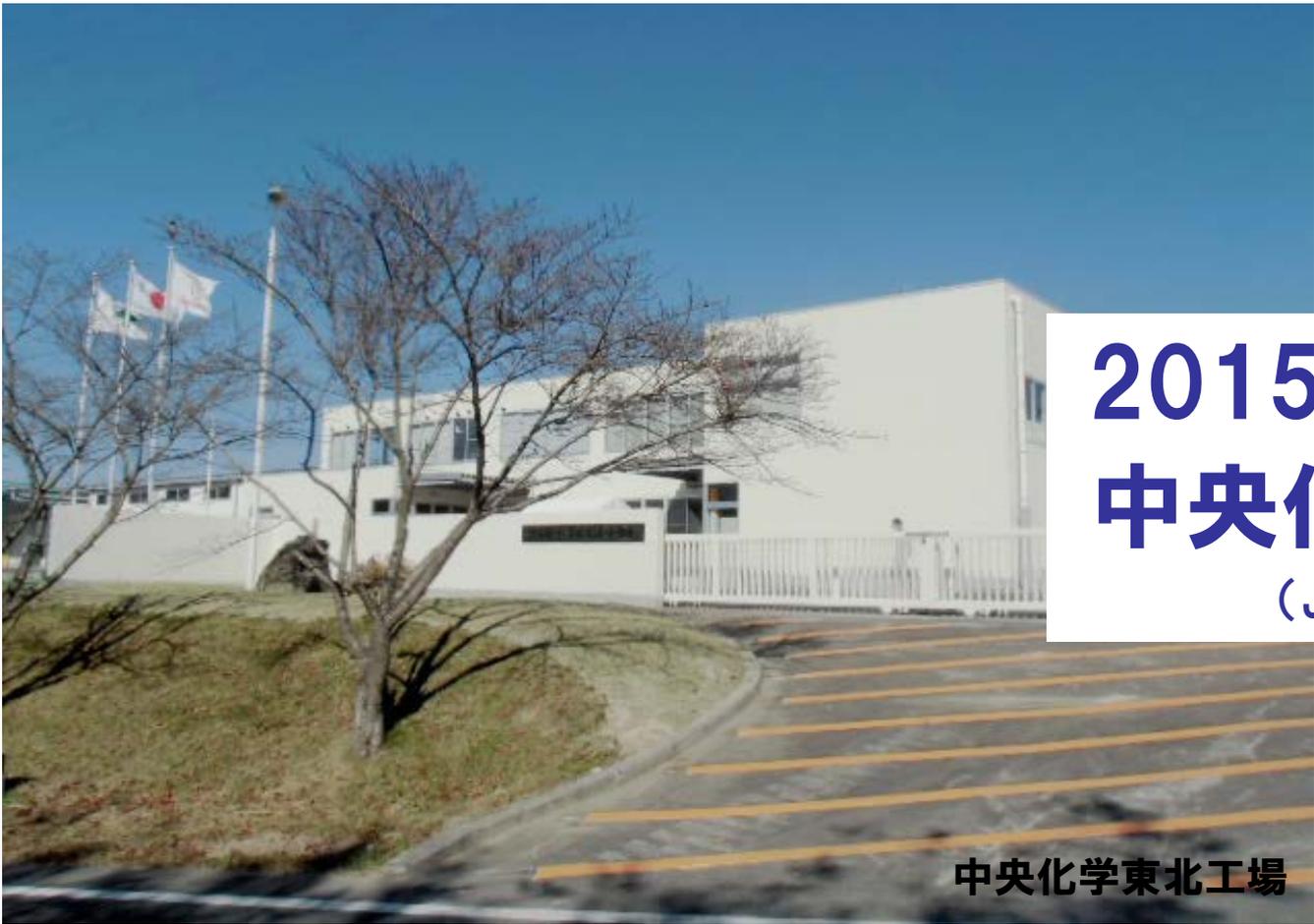


2016年3月期 第2四半期 決算説明会



2015年11月20日
中央化学株式会社

(JASDAQ スタンダード:7895)

中央化学東北工場

 中央化学株式会社

(Ⅰ) 2016年3月期 第2四半期連結決算の実績

(Ⅱ) 現状の事業環境

参考資料

(I) 2016年3月期 第2四半期連結決算の実績

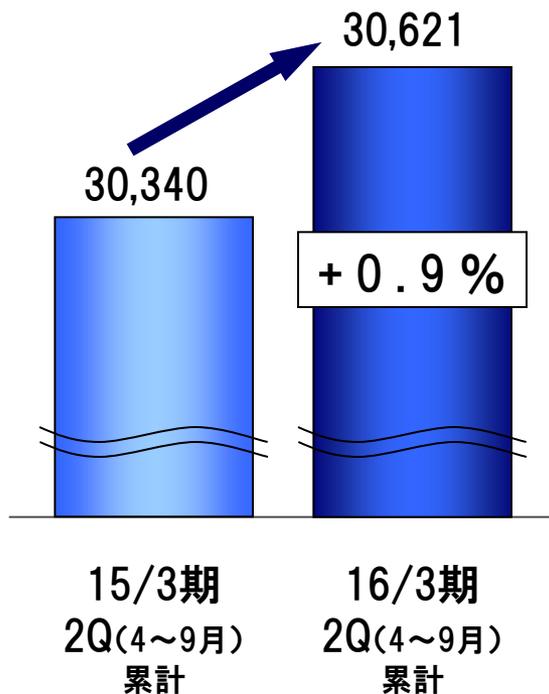
 中央化学株式会社

連結決算の実績

2四半期連続黒字を達成。 前年同期比改善

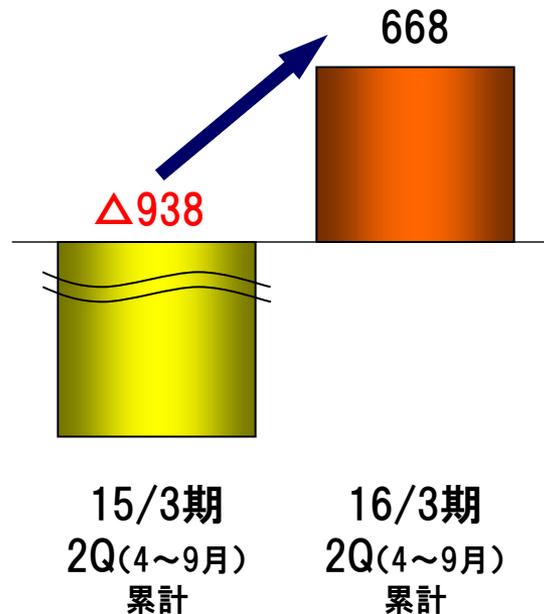
売上高

(単位:百万円)



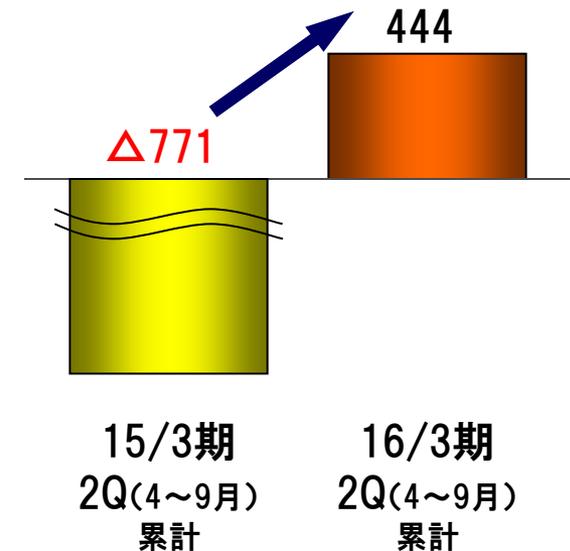
営業利益

(単位:百万円)



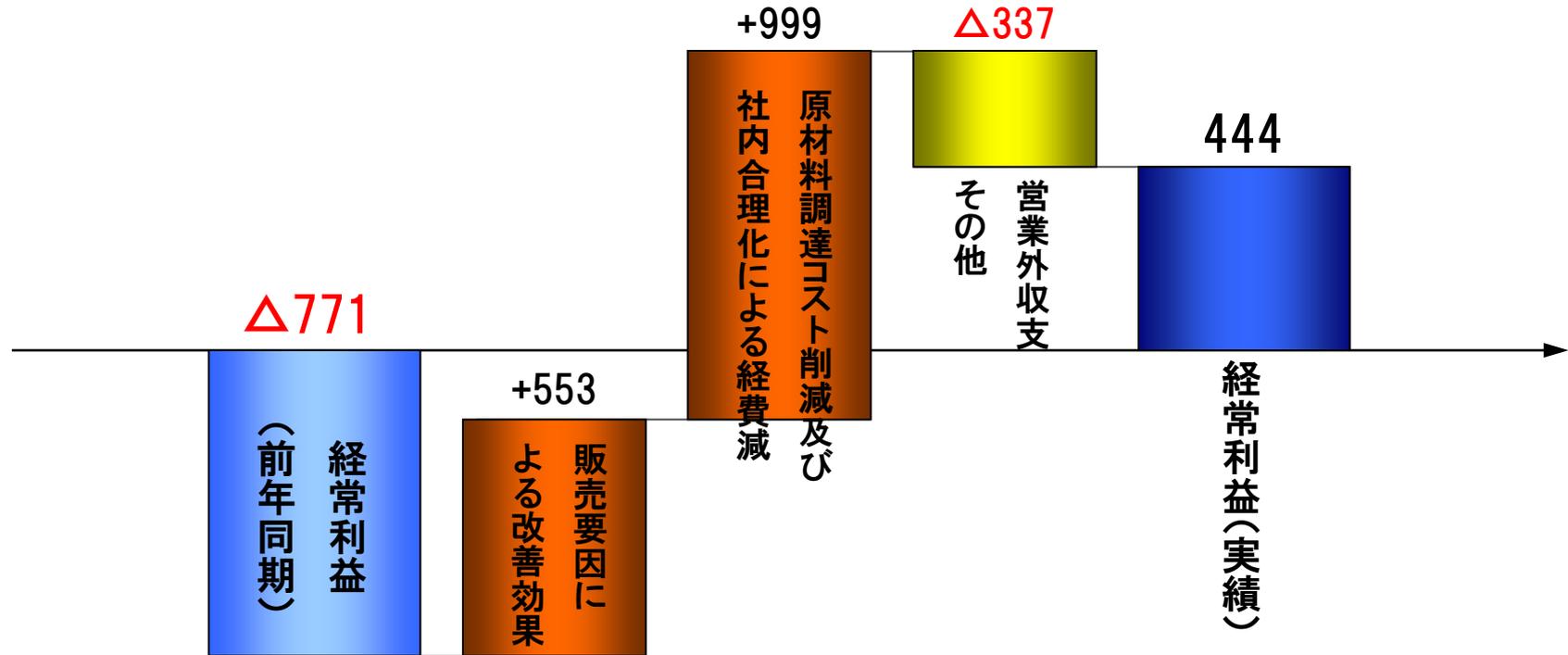
経常利益

(単位:百万円)



連結経常利益の増減分析

(単位:百万円)



15/3期2Q
累計経常利益
△771百万円

前年差異合計 1,215 百万円

16/3月2Q
累計経常利益
444百万円

報告セグメントの売上高と利益

日本、アジアともに増収増益

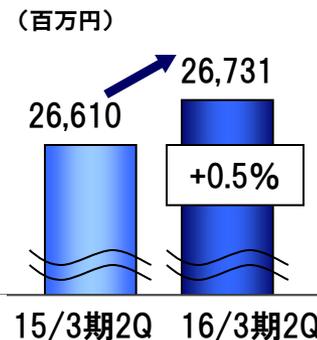
(単位:百万円)

		15/3期 2Q累計実績	16/3期 2Q累計実績	前期比
日本	売上高	26,610	26,731	121
	セグメント 利益	△773	776	1,549
アジア	売上高	4,548	4,731	183
	セグメント 利益	92	170	78

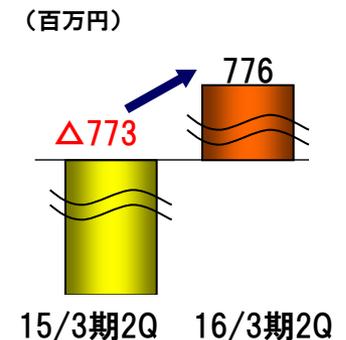
※ セグメント利益(営業利益)

日本

売上高

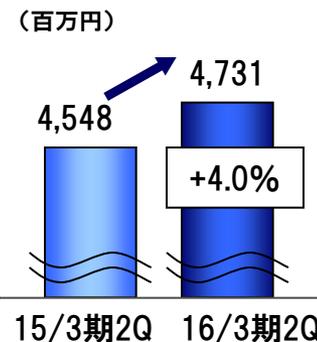


セグメント利益

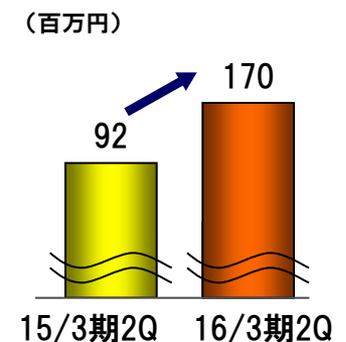


アジア

売上高



セグメント利益



貸借対照表の実績

(単位:百万円)

	15/3期 期末実績	16/3期 2Q末実績	増減額
流動資産	23,020	22,151	△868
現金及び預金	3,189	2,733	△455
受取手形及び売掛金	9,484	10,053	569
棚卸資産	8,367	7,555	△813
その他	1,980	1,810	△169
固定資産	19,688	20,147	458
有形固定資産	18,639	19,093	454
無形固定資産	486	496	10
投資その他の資産	561	557	△4
資産合計	42,708	42,299	△410
負債合計	34,639	33,874	△765
有利子負債残高	13,766	12,736	△1,030
純資産合計	8,068	8,425	356
(自己資本比率)	18.9%	19.9%	—
負債純資産合計	42,708	42,299	△408

キャッシュ・フローの実績

(単位:百万円)

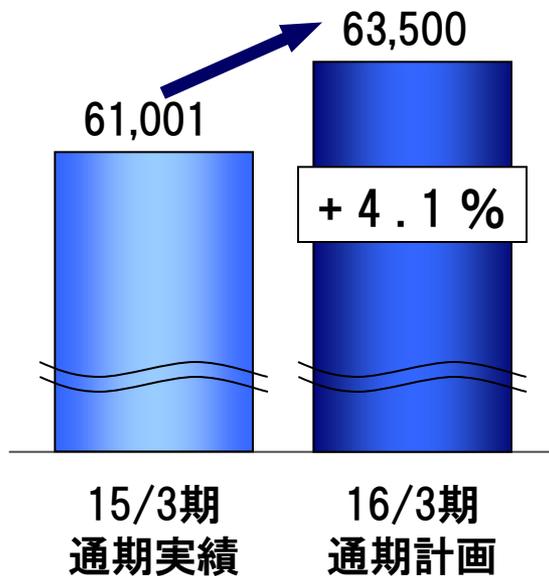
	15/3期 2Q累計実績	16/3期 2Q累計実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	354	1,827
投資活動によるキャッシュ・フロー	△76	△446
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,402	△1,793
現金及び現金同等物に係る換算差額	85	△44
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,038	△455
現金及び現金同等物の期首残高	3,836	3,183
現金及び現金同等物の期末残高	2,798	2,727

2016年3月期 連結決算の通期見通し

通期連結業績予想を上方修正、収益改善の見通し。

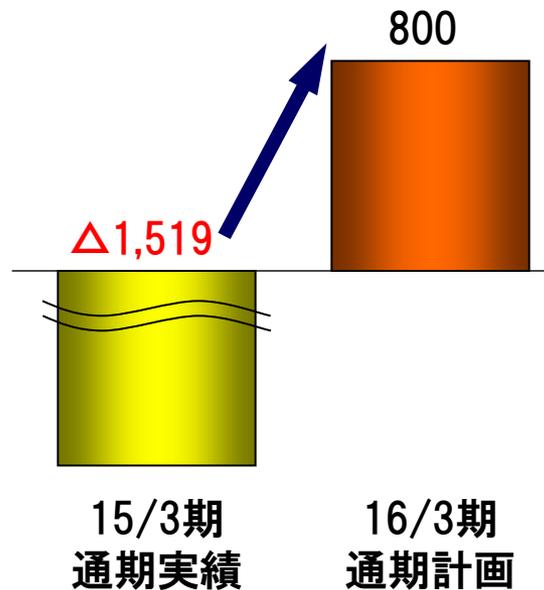
売上高

(単位:百万円)



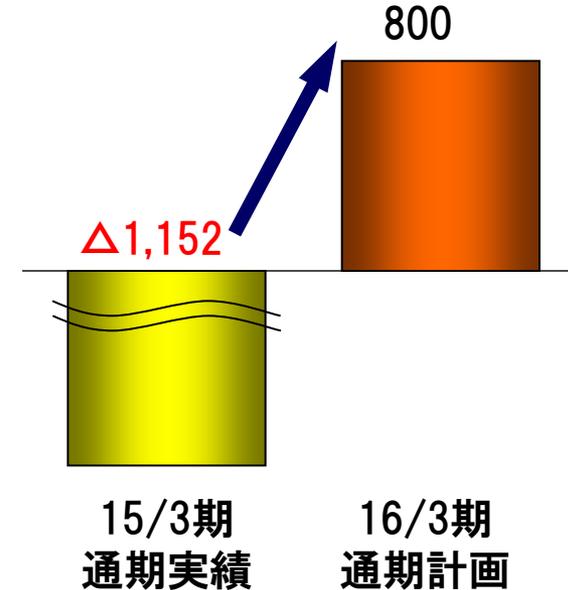
営業利益

(単位:百万円)



経常利益

(単位:百万円)



(Ⅱ) 現状の事業環境

 中央化学株式会社

(Ⅱ) 現状の事業環境

1. 国内事業の取組み

2. 中国事業の取組み

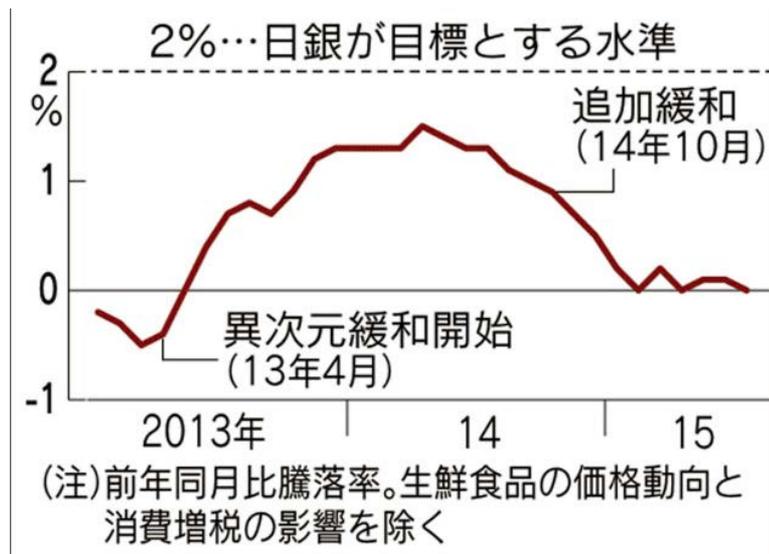
1.国内事業の取組み

1.国内事業の 取組み

1.国内事業の取組み：国内の業界環境①

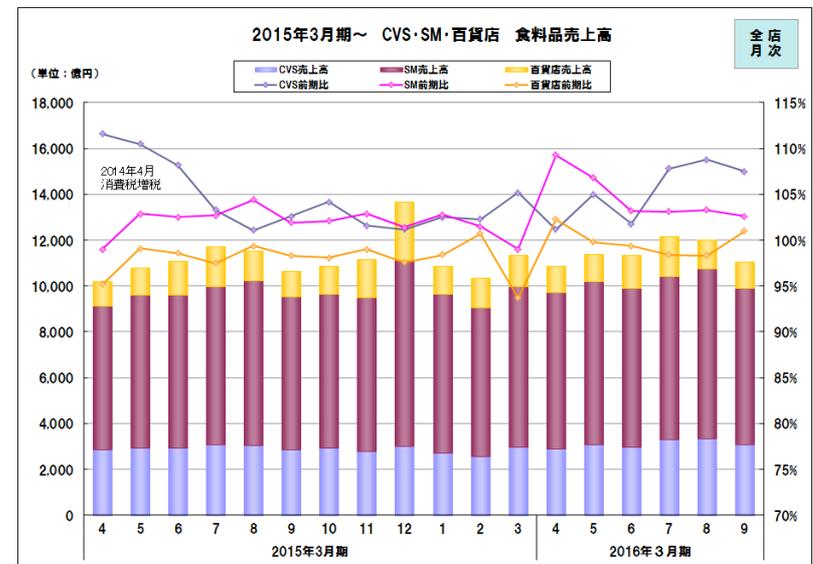
- 消費は、消費税増税前の水準に回復しつつある
- 実質賃金のプラス転換に伴い節約志向は徐々に後退
- 物価の上昇は追加緩和の実施次第との予想

■ 消費者物価上昇率は足元ゼロ%近辺で推移



出所：日本経済新聞記事(支持1人の物価シナリオ)

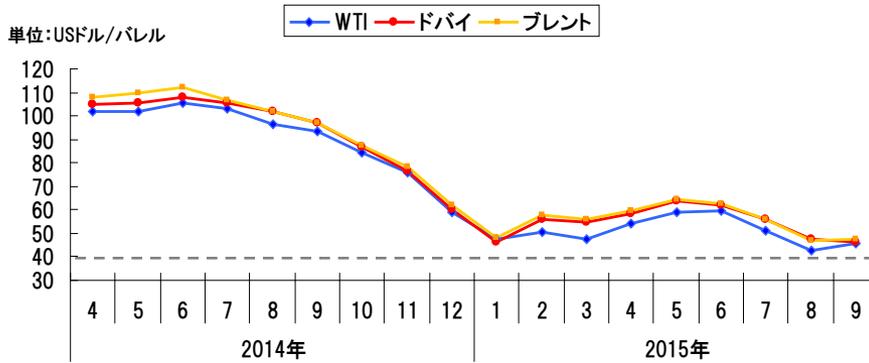
- 労働時間増加、実質賃金プラス転換によりコンビニの売上は回復へ
- スーパーの食料品売上げは回復基調
- 百貨店の食料品売上げは厳しい状況が続いている



出所：CVS …フランチャイズチェーン協会販売統計(日配食品)
SM …チェーンストア協会販売統計(食料品売上高)
百貨店…全国百貨店協会売上高概況(食料品売上高)

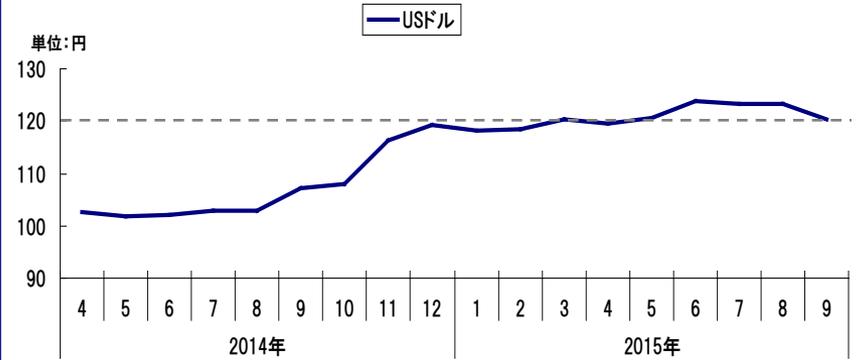
1.国内事業の取組み:国内の業界環境②

2014年4月～ 原油価格の推移 (月次)



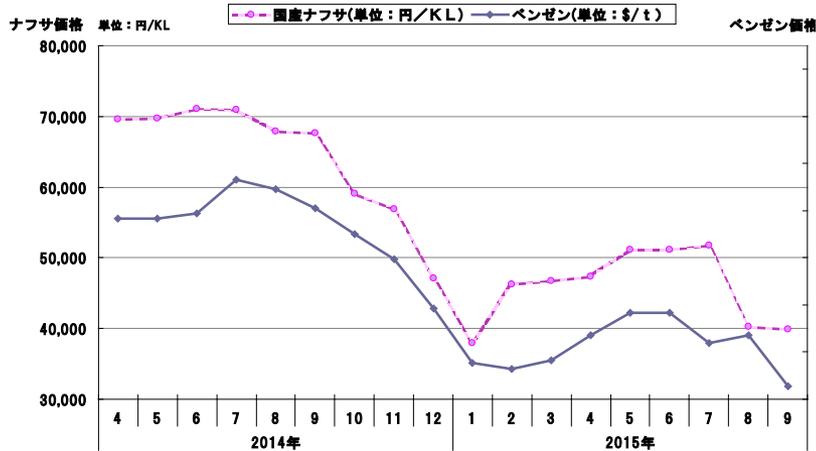
出所:Principal Global Indicators

2014年4月～ USD/円の為替レートの推移 (月次)



出所:IMF-Primary Commodity Prices

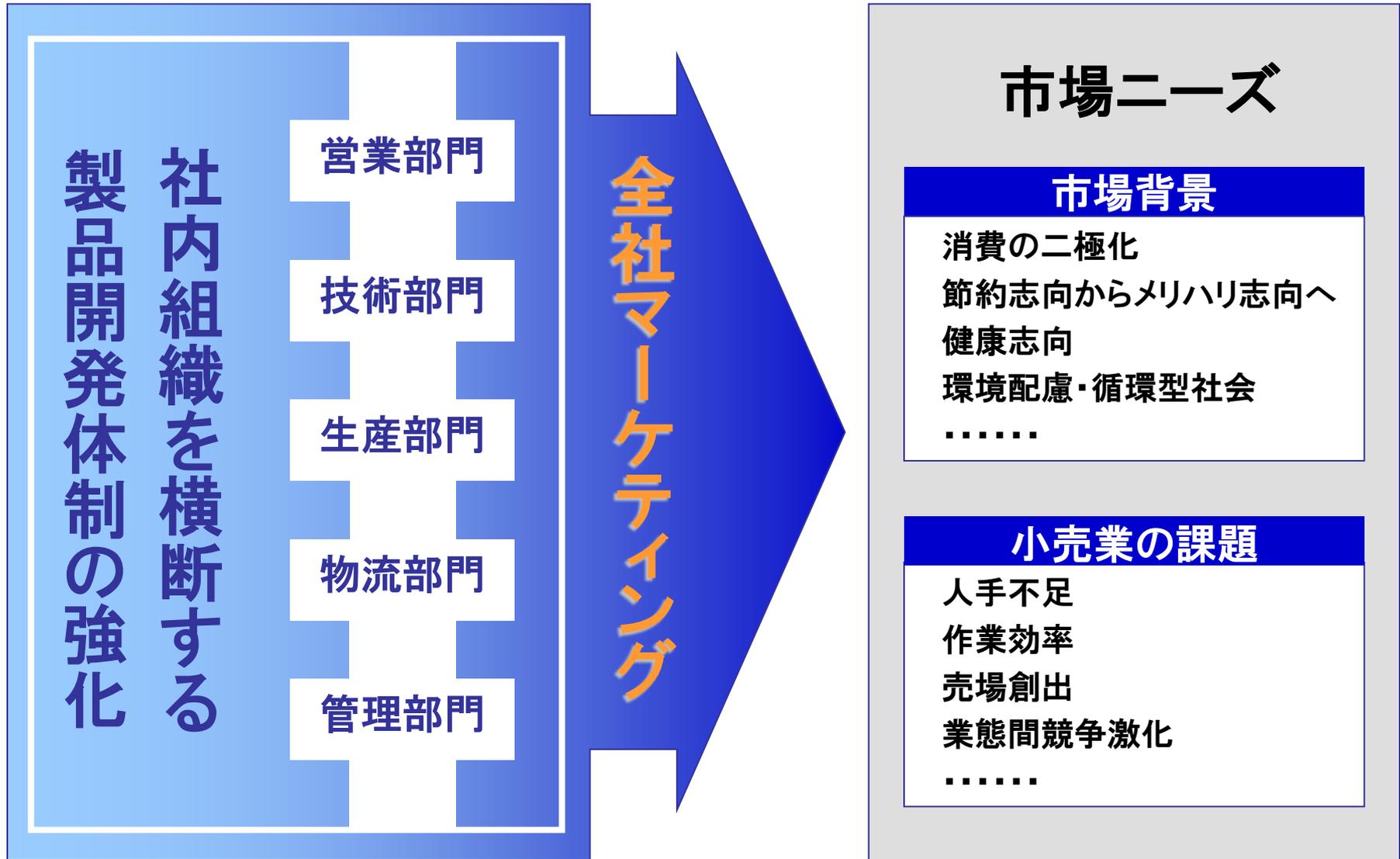
2014年4月～ ナフサ・ベンゼン価格推移 (月次)



出所:自社の集計データ

原油価格は低い水準にあるが、為替については円安に向かいつつあるため、原材料価格は先行き不透明。

1.国内事業の取組み:市場ニーズに沿った製品開発



1.国内事業の取組み:拡販による収益増

提案型営業の推進

- ・ミニ展示会の開催(全国4会場)
- ・食品加工等のユーザー提案の強化

新製品の開発・上市

- ・継続するオリジナル新製品の開発
- ・SD素材製品の拡販

地産地消の推進

- ・各エリアの収益力の向上
- ・東北工場の操業再開



1.国内事業の取組み:東北工場の操業再開

東北地区の経済復興への貢献、地域収益力の向上

■ 所在地

福島県田村市常葉町常葉字富岡101番地
(郡山市から約30km)



進捗

- ・2011年3月東北大震災および福島第一原発事故により操業停止
- ・2014年末までに除染完了
- ・設備増強、建屋ユーティリティ補修
- ・2015年10月末 竣工

地産地消

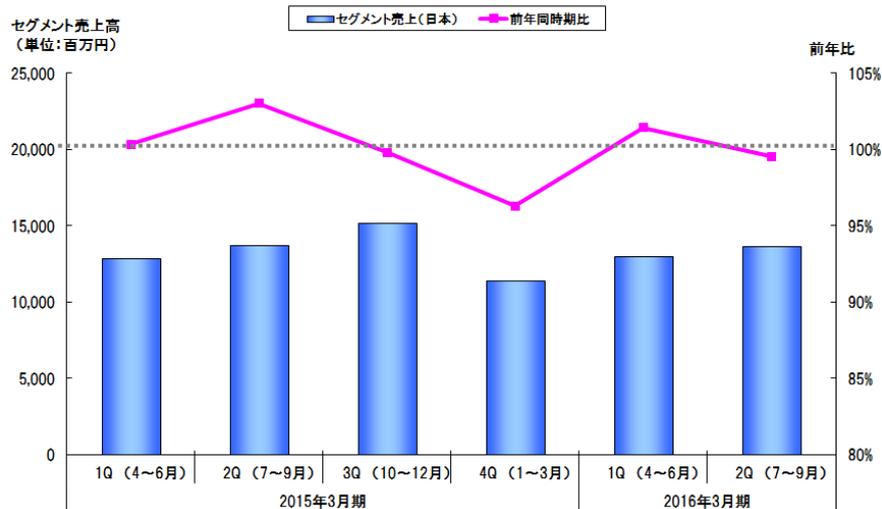
- ・他工場から供給していた製品等の消費地生産
- ・復興する東北市場のニーズに対応した食品容器の展開

国内事業実績 四半期ごとの推移

足元の業績は着実に回復

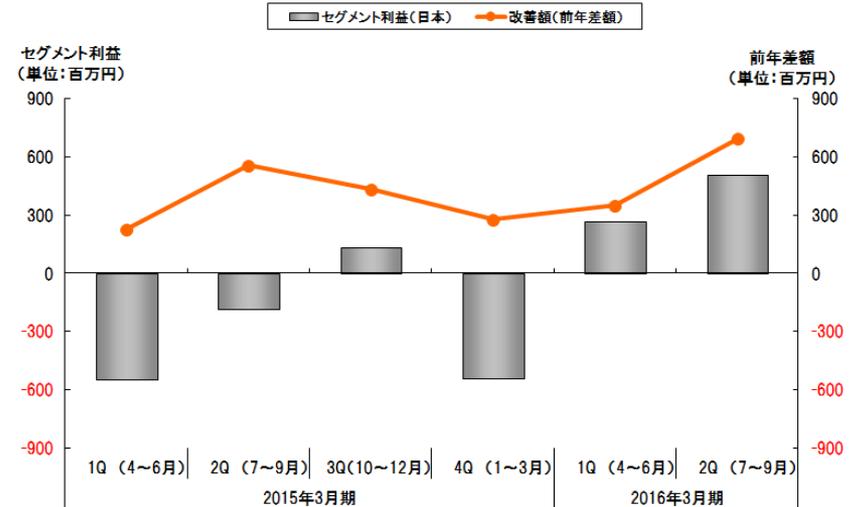
国内事業・売上高推移

2015年3月期～ 日本国内・四半期ごと売上高推移表



国内事業・利益改善額推移

2015年3月期～ 日本国内・利益改善額四半期ごと推移表



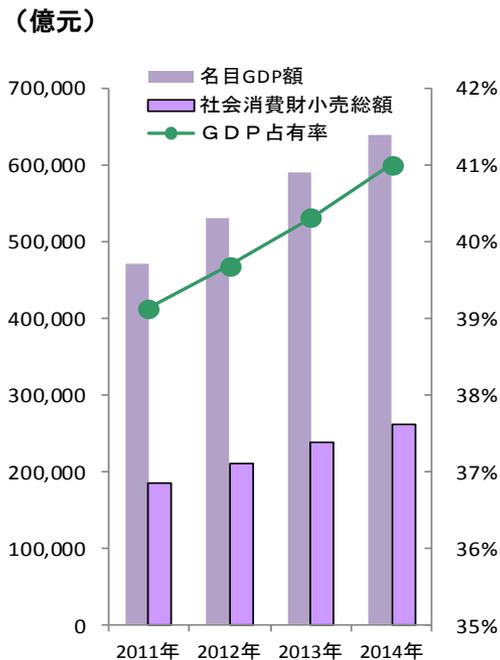
2.中国事業の取組み

2.中国事業の 取組み

2.中国事業の取組み:中国の事業環境

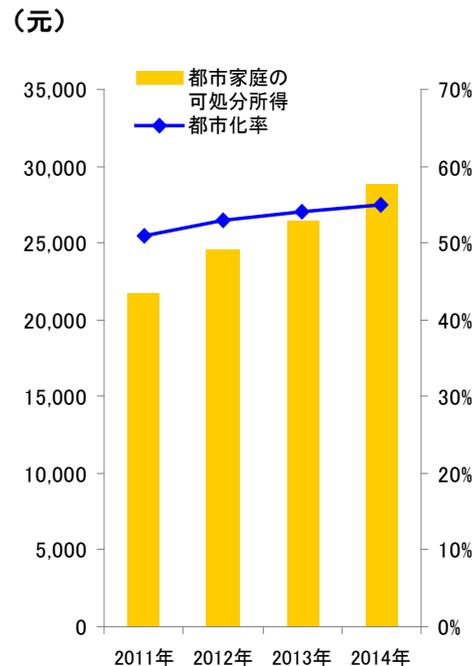
- 【新常态】投資から消費への転換を模索している新たな成長モデル
- 政府の方針である都市化の質、量向上による消費の拡大
- 包装容器の需要は今後も伸び続けていく

GDPと社会消費財小売総額



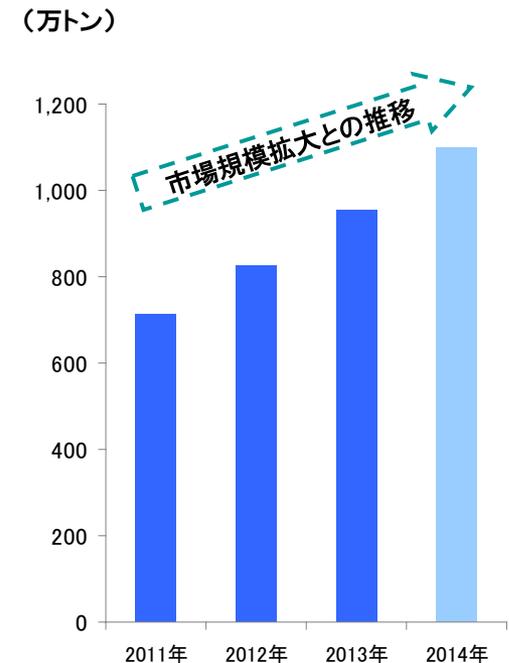
出所:中国国家统计局公表データ

都市家庭の可処分所得と都市化率



出所:中国国家统计局公表データ等

食品包装容器市場規模



出所:中国包装联合会プラスチック委員会資料等

2.中国事業の取組み:拠点立地

「オール中国中央」の総合力を活かし、継続的拡大を目指す



①海城中央化学有限公司
中国東北市場での展開
原材料供給基地
韓国向けの輸出など



②北京雁栖中央化学有限公司
京・津・塘、首都商圏の対応
中国華北市場での展開



③無錫中央化学有限公司
海外向けの輸出
上海中央と連携し華東市場での展開



④上海中央化学有限公司
長江デルタ商圏の対応
無錫中央と連携し華東市場での展開



⑤東莞中央化学有限公司
珠江デルタ商圏の対応
中国華南市場での展開
香港・マカオ市場の対応

管理拠点1箇所 赤
生産拠点5箇所 青
営業拠点7箇所 青、黒
(⑥香港、⑦成都は営業拠点のみ 黒)

2.中国事業の取組み:中国事業の現状

マクロ経済環境

経済成長のスローダウン

- ・GDP成長率の低下
- ・固定資産投資減速
- ・輸入減少、今後の改善は不透明
- ・政治的なリスクの恐れ

当社を取巻く市場環境

食品容器市場は伸長

- ・実質小売売上は底堅さを維持
- ・円安による日本向け輸出の減少
- ・中産階級の増加と生活スタイルの変化
- ・食の多様化、高級化の進行
- ・フードチェーン新規参入

中国事業全体の収益は伸長

- ・中国国内市場での当社製品への引き合いは堅調
- ・東南アジア向け輸出の拡大

施策の継続

- ・オリジナル新製品の開発上市
- ・新規顧客の開拓
- ・コスト削減、着実な収益改善
- ・中国人主導による改革の続行

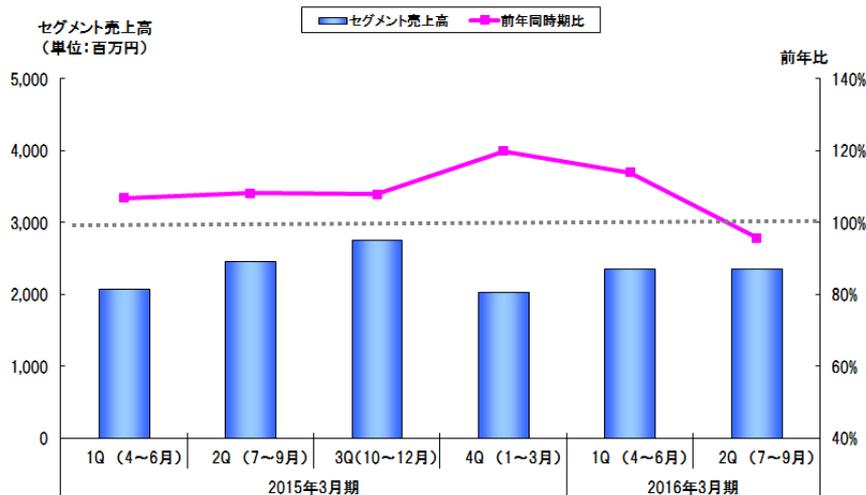
中国に於ける業界のトップ企業として、
「安全・安心」のブランド力と総合力を活かし、事業規模拡大を志向

中国事業実績 四半期ごとの推移

足元の業績は着実に回復

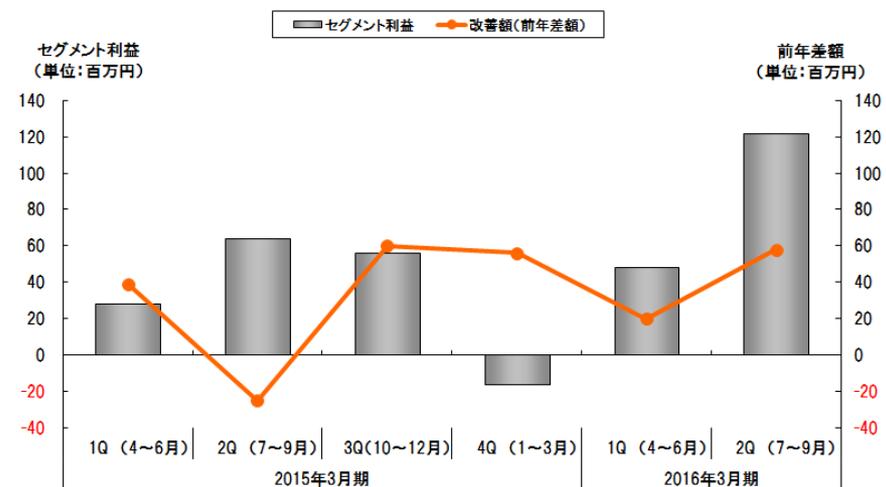
中国事業・売上高推移

2015/3期～ 中国・四半期ごと売上高推移表



中国事業・利益改善額推移

2015/3期～ 中国・利益改善額四半期ごと推移表



添付資料

 中央化学株式会社

2016年3月期第2四半期 連結決算の実績

(単位:百万円)

	15/3期	16/3期		
	2Q累計実績 (構成比)	2Q累計実績 (構成比)	前期比 <対比>	2Q累計計画 (構成比)
売上高	30,340 (100%)	30,621 (100%)	281 <+0.9%>	31,300 (100%)
売上総利益	5,364 (17.7%)	7,204 (23.5%)	1,840 <+34.3%>	—
営業利益	△938 (—)	668 (2.2%)	1,606 <—>	100 (0.3%)
経常利益	△771 (—)	444 (1.4%)	1,215 <—>	0 (—)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△899 (—)	363 (1.2%)	1,262 <—>	0 (—)

2016年3月期 連結決算の見通し

(単位:百万円)

	14/3期	15/3期	16/3期	
	4~3月実績 (構成比)	通期実績 (構成比)	通期見通し (構成比)	前期比 <対比>
売上高	59,525 (100%)	61,001 (100%)	63,500 (100%)	2,499 <+4.1%>
売上益	9,478 (15.9%)	11,094 (18.2%)	—	—
営業利益	△3,298 (—)	△1,519 (—)	800 (1.3%)	2,319 <—>
経常利益	△2,906 (—)	△1,152 (—)	800 (1.3%)	1,952 <—>
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△4,256 (—)	△1,478 (—)	600 (0.9%)	2,078 <—>

本資料は当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性及び完全性を保証又は約束するものではありませんのでご了承ください。

IRに関するお問合せ先：経営企画部
電話番号：048-540-2902